

各種文化財関係団体からの主張・要望（16団体）

平成14年5月現在 その1

主張・要望	組織名	日付	内容
京奈和自動車道の平城宮跡地下トンネル建設計画の撤回	木簡学会 (会長：佐藤宗諄)	H12. 6.14 H12.12. 4	<ul style="list-style-type: none"> トンネル工事によって地下水脈が断ち切られるようなことがあれば、木簡は腐食・乾燥し、その史料としての生命を絶たれ、その情報は永遠に失われる 平城宮跡の地下にトンネルを通すという発想自体が疑問
	日本史研究会 (代表委員：佐藤宗諄)	H12. 6.17	<ul style="list-style-type: none"> 地下水脈が断ち切られたならば、遺構に影響をおよぼすことは必至であり、木簡に大きな損傷を与える 木簡史料を壊滅に導く「見えない破壊」である
	日本歴史学協会 (会長：外園豊基) 日本歴史学協会文化財保護特別委員会 (委員長：佐藤伸雄)	H12. 7. 8	<ul style="list-style-type: none"> 地下水脈を断ち切り、木簡をはじめとする木質の埋蔵文化財に壊滅的な打撃を与える
	京都民科歴史部会 (代表委員：鈴木栄樹)	H12. 7.14	<ul style="list-style-type: none"> トンネル工事によって地下水脈が遮断されたならば、木簡はたちまち腐食、乾燥し、その歴史資料としての生命は永遠に失われる
	考古学研究会 (代表委員：稲田孝司 小笠原好彦)	H12. 7.31	<ul style="list-style-type: none"> 木簡を初めとする木製品は、特別な地下環境の下でかろうじて消滅を免れてきたものであり、地下水位が変動し埋没環境が変化すれば消滅する恐れがある
	古代交通研究会 (会長：木下 良)	H12. 8.15	<ul style="list-style-type: none"> 地下水位が下がるような事態が発生した場合、埋蔵文化財特に木製品類は壊滅的な打撃を受ける 木材を使用した道路や都市の遺構も消滅する
	(財)史学会 (理事長：樺山紘一)	H12.10. 5	<ul style="list-style-type: none"> 平城宮跡はまずはじめからルートからはずすべき 地下水の状況に変化が生じ、木簡などの遺物が失われる 地盤沈下により遺構を毀損
	中国・四国古代史研究会 (代表：松原弘宣)	H12.12.23	<ul style="list-style-type: none"> 木簡を初めとする地下に眠る貴重な歴史資料を破壊 平城宮跡及び平城京跡の保存に重大な影響をおよぼす

主張・要望	組織名	日付	内容
(京奈和自動車道の平城宮跡地下トンネル建設計画の撤回)	奈良県歴史教育者協議会 (会長：中塚 明)	H12. 7. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡は、歴史教育において、奈良時代や律令制を学ぶ際に不可欠の教材である ・トンネル工事によって地下水脈が断ち切られることにより、木簡が腐食・乾燥して永遠に失われてしまうことになれば、歴史教育の発展にも大きな支障をきたす ・トンネル出入口部における文化財の破壊 ・排気筒設置による文化財の破壊や大気汚染が文化財におよぼす影響を懸念
	日本考古学協会 埋蔵文化財保護対策委員会	H12. 8.10	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル工事に伴う地下水位の低下や変化により、木製構造物や木器・木簡等におよぼす影響を懸念 ・トンネル出入口部における文化財の破壊 ・排気筒からの大気汚染等による文化財への影響を懸念
	大阪歴史学会 (代表委員：鶴崎裕雄)	H12. 9.11	<ul style="list-style-type: none"> ・地下道路建設によって地下水脈が乱され、木簡等におよぼす影響を懸念 ・トンネル出入口部における遺跡の破壊 ・排気筒建設は地上の遺跡を破壊
	日本考古学協会 (会長：甘粕 健)	H13. 5.22	<ul style="list-style-type: none"> ・地下の複雑な水脈に影響を与え、木簡を始めとする木質の遺物や遺構など貴重な歴史遺産が消滅する ・トンネル出入口部における埋蔵文化財の破壊 ・排気筒からの大気汚染による周辺の文化財への悪影響

主張・要望	組織名	日付	内容
京奈和自動車道の平城宮跡・平城京跡内通過計画の撤回	歴史学研究会	H12. 7.28	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水位の変化によって、木簡を初めとする木製品の遺物が腐敗・消滅する ・トンネル出入口部における文化財の破壊 ・排気筒建設による文化財の破壊や大気汚染が文化財におよぼす影響を懸念 ・交通渋滞は国道24号線の改良等で十分対応できる
	歴史科学協議会 (代表委員：広川禎秀)	H12.10.13	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル工事によって地下水脈が断ち切られることにより、木簡が腐食・乾燥して永遠に失われてしまう ・トンネル出入口部における文化財の破壊 ・地上を通過しても遺構や遺物を破壊する可能性はある ・排気ガスや騒音問題の発生 ・地元住民の生活環境の悪化
	文化財保存全国協議会 (代表委員：田中義昭 十菱駿武)	H13. 6.10	<p>地下トンネル案では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水位の変化による木簡をはじめとした古代の木製遺物の腐食、消滅・地表への出入口区間及び排気筒付近の遺構は確実に破壊 ・地盤沈下を懸念 <p>平城宮跡を避けた地上ルートであっても</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地に隣接するルートでは、排ガスや騒音、振動など環境破壊を懸念 ・奈良市周辺の大気汚染の悪化は、灯籠や銅鐘など大気にさらされている文化財にも悪影響

市民団体等からの主張・要望（6団体）

平成14年5月現在 その1

組 織 名	日 付	主 張 ・ 要 望	内 容
奈良県の文化と自然と景観の世界遺産登録を実現し保全継承を求める市民ネットワーク (世話人代表：浜田博生)	H12. 3. 9	・平城宮跡の破壊につながるのではないかと深く危惧	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡の地下遺構や遺物、特に木簡に大きな異変を与える ・南北の交通渋滞の解決は切実なものだが、大型公共事業ではなく、地域に密着した計画が求められている ・京奈和自動車道の情報公開
奈良文化財研究所職員組合	H13. 7. 5	・平城宮跡およびその周辺の地下通過計画の撤回	<ul style="list-style-type: none"> ・平城宮跡を守り続けてきたのは豊富な地下水 ・地下道路は、地下水位の低下・水脈の変化や地盤沈下などにより遺跡を破壊する危険性が高い ・過去と現代と未来の人類に対する冒瀆
シンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」実行委員会 (代表：鈴木重治)	H13.11.11	・平城宮跡地下通過計画の白紙撤回	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水が守ってきた木簡など、木の文化財を完全に消失 ・トンネル出入口部における埋蔵文化財の破壊 ・排気筒からの大気汚染による周辺の文化財への悪影響
高速道路から世界遺産平城京を守る会（事務局長小井修一） 奈良世界遺産市民ネットワーク (世話人代表浜田博生) しんぶん赤旗 (奈良県記者山口昌亮)	H14. 2. 6	・平城宮・京跡通過に反対 (13,000名分の署名)	<ul style="list-style-type: none"> ・地下トンネル案では、地下水位の変化により、木簡をはじめとした木製品の遺物が腐食・消滅してしまう ・地上を通る案では、平城宮跡を避けたとしても、奈良市の市街地に隣接するルートとなり、排気ガスや騒音・振動などの環境破壊が懸念される ・風致景観保全にとっても問題